**Voici, publié sur** [www.shobogenzo.eu](http://www.shobogenzo.eu) **le texte de *Zenki*, étudié avec Yoko Orimo dans l'atelier à l'Institut d'Etudes Bouddhiques du 12 octobre 2015 (1 seule séance).**

***Zenki (La totalité dynamique)*** est traduit en français dans le tome 2 de la Traduction intégrale du Shôbôgenzô (La Vraie Loi, Trésor de l'œil) de Yoko Orimo (Ed. Sully). Le texte japonais ci-dessous est **à peu près** présenté en paragraphes comme dans le livre de Y. Orimo pour faciliter la recherche.

Ce texte est le n° 22 de la Nouvelle Édition.

**正法眼蔵第二十二　全機**

**諸仏の大道、その究尽するところ、透脱なり、現成なり。その透脱といふは、あるいは生も生を透脱し、死も死を透脱するなり。このゆゑに、出生死あり、入生死あり。ともに究尽の大道なり。捨生死あり、度生死あり。ともに究尽の大道なり。現成これ生なり、生これ現成なり、その現成のとき、生の全現成にあらずといふことなし、死の全現成にあらずといふことなし。この機関、よく生ならしめ、よく死ならしむ。**

 **この機関の現成する正当恁麼時、かならずしも大にあらず、かならずしも小にあらず。遍界にあらず、局量にあらず。長遠にあらず、短促にあらず。いまの生はこの機関にあり、この機関はいまの生にあり。生は来にあらず、生は去にあらず。**

**生は現にあらず、生は成にあらざるなり。しかあれども、生は全機現なり、死は全機現なり。しるべし、自己に無量の法あるなかに、生あり、死あるなり。しづかに思量すべし、いまこの生、および生と同生せるところの衆法は、生にともなりとやせん、生にともならずとやせん。一時一法としても、生にともならざることなし、一事一心としても、生にともならざるなし。**

**生といふは、たとへば、人のふねにのれるときのごとし。このふねは、われ帆をつかひ、われかぢをとれり。われさをさすといへども、ふねわれをのせて、ふねのほかにわれなし。われふねにのりて、このふねをもふねならしむ。この正当恁麼時を功夫参学すべし。この正当恁麼時は、舟の世界にあらざることなし。天も水も岸もみな舟の時節となれり、さらに舟にあらざる時節と同じからず。このゆゑに、生はわが生ぜしむるなり、われをば生のわれならしむるなり。舟にのれるには、身心依正、ともに舟の機関なり。尽大地尽虚空、ともに舟の機関なり。生なるわれ、われなる生、それかくのごとし。**

\*

**圓悟禅師克勤和尚云く、生也全機現、死也全機現。**

**この道取、あきらめ参究すべし。参究すといふは、生也全機現の道理、はじめ、をはりにかかはれず、尽大地・尽虚空なりといへども、生也全機現をあひ罣礙せざるのみにあらず、死也全機現をも罣礙せざるなり。死也全機現のとき、尽大地・尽虚空なりといへども、死也全機現をあひ罣礙せざるのみにあらず、生也全機現をも罣礙せざるなり。このゆゑに、生は死を罣礙せず、死は生を罣礙せざるなり。尽大地・尽虚空、ともに生にもあり、死にもあり。しかあれども、一枚の尽大地、一枚の尽虚空を、生にも全機し、死にも全機するにはあらざるなり。一にあらざれども異にあらず、異にあらざれども即にあらず、即にあらざれども多にあらず。このゆゑに、生にも全機現の衆法あり、死にも全機現の衆法あり、生にあらず死にあらざるにも全機現あり。全機現に生あり、死あり。**

**このゆゑに、生死の全機は、壮士の臂を屈伸するがごとくにもあるべし。如人夜間背手摸枕子にてもあるべし。これに許多の神通光明ありて現成するなり。正当現成のときは、現成に全機せらるるによりて、現成よりさきに現成あらざりつると見解するなり。しかあれども、この現成よりさきは、さきの全機現なり。さきの全機現ありといへども、いまの全機現を罣礙せざるなり。このゆゑにしかのごとくの見解、きほひ 現成するなり。**

**正法眼蔵全機第二十二**

**于時仁治三年壬寅十二月十七日在雍州六波羅蜜寺備前雲州刺史幕下示衆
　　同四年癸卯正月十九日書写之　懐弉**